

平成21年度一般会計・特別会計・企業会計の各決算をはじめ、平成22年度一般会計・特別会計補正予算や条例の一部改正などの議案を各常任委員会で審査しました。



Q 平成21年度から、B&G海洋センターなどの施設を指定管理に移行している。運営・管理面で改善された点はあるか。

A 利用・開放時間を増やすなど、多様な市民ニーズに対応したことで、利用者数が増えている。またコストも削減されている。今後もコストを下げるだけでなく、市民サービスの向上につながる管理・運営を行うよう指導していく。



袋井B&G海洋センター

建設経済委員会

Q 公共下水道の接続率の低い地区が見られるが原因は何か。また、接続率向上に向けての取り組みはどうか。

A 市内全体の接続率は、袋井処理区と浅羽処理区合わせて、80.8%である。一部接続率の低い地区は、新しく下水道を整備した地区であり、今後は、接続率の向上が見込まれる。下水道接続率を向上させるために、今年度から推進員1名を雇用し、市内の全未接続世帯を対象に、戸別訪問とアンケート調査を実施している。

Q 国本にぎわいまちづくり事業について、今後のスケジュールはどうか。

A 平成22年5月31日に、地権者組織の設立総会が開かれた。今後は、地権者組織と協議し、平成25年度予定のプロポーザルコンペの実施に向けて、27号計画()を踏まえての農業振興施策を中心とした方向を決定していきたい。なお、プロポーザルコンペを実施する際の要件については、地元住民と協議する中で土地利用として取り組む事業内容をはじめ、周辺の道路整備、治水対策、土地の借地・売却などの方向性を定め、実施要綱を固めていきたい。

27号計画:農振法施行規則第4条の4第1項第27号による「地域の農業の振興に関する地方公共団体の計画」

Q 新規就農者育成支援事業費補助金については、どのような事業を推進するのか。

A 新規就農者育成支援事業は、全額県の補助を受け、株式会社ホロネットが所有する浅羽湊地区の市民農園25区画において、就農を目的とした人たちに農業技術を指導する事業である。様々な農作物を栽培することにより、新規就農者の育成と農業知識の向上に繋がってほしい。



浅羽湊地区の市民農園